

【議事】定30

(1) 独立行政法人宇宙航空研究開発機構宇宙機関システム本部 H- A プロジェクトチーム (SRB-A 担当) の優れた成果について

井口委員長が資料 30-1 (標記) をじっくりと説明した後、何の反論も無く承認された。

【井口委員長発言】

(添付資料の部分をじっくり説明し、高い評価をしていることを表明したが、この発言のメモは取らなかったのが省略する。) 8 月 24 日に現場で現物を見て、更に説明も聞いたが、大変素晴らしい結果であると思った。SRB のノズルの改良は、機会学会のような場に発表すれば表彰されるような成果があったが、機密保護の対象となる技術なので発表ができない。賞状も賞金も無いが、宇宙開発委員会として表彰したい。

(2) 平成 19 年度宇宙開発関係経費概算要求について

文科省 池原参事官が資料 30-2-1(概算要求の数値) を、奈良課長が資料 30-2-2(文科省要求の内容説明) と資料 30-2-3(「骨太の方針」との対比) を説明した後、少々議論が行われた。

井口：最終的にどうなるのかは判らないのですが、増額要求ということで結構である。また、信頼性向上プログラムの予算が高額であることを評価する。

青江：経産省は NEDO を除いた額なのか？

池原：入った値です。

青江：こんな調子ではいけない。各省の数値が一向に上がってこない。

奈良：議員立法で、測位地理情報に関する法制化を進めようとの動きや、自民党で宇宙基本法を制定しようという動きがある。これらと整合を取りながら、将来発展を目指している。

森尾：計画部会での議論も聞かせていただいた。こういうものは総理のイニシアティブの下でいかないに進まないものである。

井口：愚痴になるのかもしれないが、ITS (知能交通システム) をやったときに五つの省庁がリーダーシップの取り争いをした。(宇宙は) 将来、産業になりそうという明るい見通しが無いということであろうか。